

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年10月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300141
法人名	医療法人 健育会
事業所名	つどいの家
所在地	鹿児島県始良市鍋倉224番地1 電話 0995-66-3533
自己評価作成日	平成29年8月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年9月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・毎月の努力目標を定め、毎日唱和し入居者が安心した生活を送れるような取り組みををしている。
- ・玄関先に四季折々の花を植え、季節の移り変わりを感じて頂いている。畑には野菜を作り、成長、収穫の喜びを味わっていただいている。
- ・可能な限り「軒下から一步外に」を目指して外気浴、外出の支援を行い精神面の安定を図っている。
- ・母体が医療法人のため、健康面においても連携が取れ、ご家族にも安心して頂いている。
- ・ホームの目の前に保育園があり、子供たちの笑い声や元気よく走る姿等身近に感じたり、園の運動会、音楽会にも参加し、交流を深めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、2ユニットのグループホームで、ユニット間を利用者は散歩したり外気浴を楽しみ交流を図っている。
- ・母体が医療法人で医療連携が密であり、日常の健康管理や受診・緊急時の迅速な対応ができ、本人家族は安心した医療が受けられている。
- ・自治会に加入し定期的な演奏会の誘いや敬老会での交流があり、防災訓練に協力を得ている。近隣の住民から野菜や果物の差し入れなど、日常的に交流を行っている。
- ・職員は理念を基に、毎月の努力目標を立て、ケアの実践を振り返り、意見や提案を共有してサービスの向上を図っている。
- ・利用者の一人ひとりを良く把握して、残存能力を活かしながら、その人らしい暮らしができるよう取り組み支援している。畑での野菜栽培や梅干し・干し柿づくり等、職員と共に行っている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションがよく、資格取得に向けた支援を行い、質の高いサービスに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホール内に理念を掲示し、朝・夕の申し送り時に毎月の目標と一緒に唱和し、全職員が共有し実践している。	地域密着型サービスを踏まえた理念があり、ホール・玄関に掲示し、パンフレットにも掲載している。朝夕申し送り時に、毎月の目標と共に唱和し、ミーティングで日常のケアを振り返り実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に地域の方の出席をお願いし情報等を共有している。防災訓練等を、近隣住民にも参加してもらっている。近所の施設・保育園等の交流を行い、他事業所と共にサロン等での情報発信も行っている。	自治会に加入し、日常の近隣のお付き合いを大切にしている。犬の散歩中に声かけをもらったり野菜や柿・みかんなどの差し入れもある。定期演奏会の誘いや隣接の児童福祉施設・保育園児との交流を行っている。台風等の災害の時は、避難場所の協力もある。他事業所とサロンでの交流や情報発信もしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議での認知症の方達の支援の方法を伝え、理解してもらっている。防災訓練等へも参加していただき、認知症の方への支援を一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>出席者への外部評価の報告や研修等の報告を行い、地域からの情報を得たりと委員との関わりの中で、地域との繋がりを築いている。ご家族からの意見も聞き、委員と共にサービスに活かせるように検討している。</p>	<p>会議は2ヶ月に1回開催している。入居者の状況・活動実績・行事予定・ヒヤリハット・月努力目標・研修会報告・外部評価結果報告等を行い、活発な意見交換がされ、出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に出席していただき取組等を伝え、助言をいただいている。日頃から連携をとるように努めている。</p>	<p>市担当者とは、電話や書類申請の時、窓口に出かけて相談や助言を得ている。運営推進会議にも参加してもらって状況報告を行っている。グループホーム連絡協議会や福祉事務所とも機会を捉え、連携を密にし協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会等で身体拘束について職員全員が学んでおり、身体拘束が様々な弊害をもたらす事を理解し、拘束しないケアに努めている。スタッフ間の声掛けの強化や見守りができる体制を作っている。</p>	<p>毎月の職員会議やミーティングでマニュアルを中心に勉強会を実施し、身体拘束をしないケアを実践している。法人の研修会や新人研修会でも言葉の拘束を含め、日々のケアに、対応している。昼間は玄関の施錠はしていない。帰宅願望や外に出たい時は、職員間で見守りや声かけしながら寄り添って、入居者が満足の得られる対応をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会への参加や職場内での勉強会にて、虐待は生命・身体に重大な危険を生じる場合がある事を学び、防止に努めている。言葉での虐待等も無いように、勉強会を行い、職員同士でも気を付けるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市町村の講習会に参加したり、ホーム内勉強会を実施して制度の理解活動に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事業所の運営理念や説明を行っている。特に退所に関する取り決めについては不安、疑問点がないように説明している。又改定や変更の際には、文書にて本人・家族へ説明し同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	行事等、家族の皆さんが集まる機会を設けて、家族の方との会話をしている。推進委員会への参加を呼び掛け要望や意見を尋ねて検討して迅速に対応しケアに活かせるように努めている。面会時にはご家族との会話を持ち、カンファレンス等でも意見を聞くように努めている。	利用者からは日常の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会や家族会・行事や運営推進会議の時に把握している。遠方の家族へは情報を詳細に便りや電話などで報告している。意見や要望は話し合い、運営に反映させるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング等で職員の意見を聞き、反映されるように心がけている。月1回の法人の全体会議で提案や意見の場を設けている。</p>	<p>管理者は、職員とのコミュニケーションを図り、日頃から意見が言いやすい環境を整えている。ミーティング等でも職員の意見を聞き、毎月の法人の全体会議で、提案や要望を出している。迅速を要するものは即時に対応することもある。設備面での提案や意見が多い。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は個々の能力や実績、勤務状況を把握している。又職員と懇談の機会を設けたり、年に数回の法人内の懇親会等でコミュニケーションを取っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に行われる法人内の研修に参加している。新人研修やホーム内勉強会の実施、研修報告を行い全職員に伝わるようにしている。法人外での研修も参加できるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区協議会に加入し研修等で交流の場を持っている。問題点や課題について地域の施設の方と電話連絡や交流会等で情報の交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来る限り本人宅・事務所に向き、面談回数を多くし顔なじみの関係を作っている。又職員は本人の気持ちに配慮するように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の想いを傾聴し、ホームの役割等を説明し、双方にとって今何が必要か、安心した生活ができるか、共に考えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談、連絡等は本人や家族の思いを傾聴し、必要時は居宅事業所や他のサービス機関への照会、相談等により、その時点で必要とされるケアプランを作成し、寄り添ったケアを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活歴・家族・本人の言葉から得意とする物を知る事で役割を見出し、共に生活するものとしての関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や体調変化時に状態の報告、また遠方のご家族には本人の訴えや要望を電話連絡し、現状を把握していただいている。又外出・外泊の実施、行事等に参加していただく事で本人との関係を築いていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方の家族、親戚には電話やお便りで連絡を取っている。買い物で外出や馴染みの場所に行く等して支援を行っている。	入居時に馴染みの人や場を把握し、買い物や馴染みの場所へ同行支援している。昔の友人が訪ねて来ることもあり、お茶を出してゆっくりしてもらっている。馴染みの人や場との関係が途切れないように支援している。家族の協力をもらって墓参りや行きつけの美容院等へ出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の性格や生活歴を把握し、利用者同志が良い関係を築くように努めている。問題発生時やコミュニケーションが取りづらい方に対しては、職員が調整役となり配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時候の挨拶や電話をかける等で、関係を築いている。他の事業所に移られても面会に出向いたり、入院時には家族からの相談等に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	朝夕の申し送り時には、利用者一人一人の状態を報告し合い、日常生活の中で本人の想いを見出し、職員間で情報を共有している。思いを言葉で表せない方には、表情等で察するように努めている。	申し送り時の入念な報告と、観察で思いや意向を把握している。日によって変動があり、言動やタイミングをとらえて対応している。困難な場合は、家族から情報を聞いたり、表情などから本人中心の支援を行い、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人、家族から聴き得た生活歴や日常会話の中から情報を拾い、その人らしい暮らしが出来るようにしている。情報提供書や生活歴は職員がいつでも確認できる。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、言動や表情を観察し、ミーティング等で職員が情報を共有し個々の能力、生活パターンの把握に努めている。家事動作等では得意とする事や役割を見出しケアに結び付けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状態に合わせて、その都度本人や家族の要望や意見を取り入れながら、主治医・看護師の意見を参考にミーティング等で話し合い検討し、介護計画を作成している。	本人や家族の意見を取り入れ、担当者会議で主治医の意見を参考に介護計画を作成している。モニタリングは、1ヶ月毎に実施し、変化があった時は、その都度見直し、現状にあった介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別に記録し、身体状況から日常生活での様子等記録し、申し送り等で全員が共有し計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の生活の継続性と家族の要望を踏まえて、通院介助・外泊・買い物等の要望支援。往診、医療連携等入居者にとっての生活の継続性の支援。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署立ち合いでの災害訓練、地域施設での行事(音楽会等)に出向き、地域の方との触れ合う機会を設けている。移動パン屋の利用を行い、買う楽しみを作っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援する。協力病院も定め適切な医療が受けられるように支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診である。協力医療機関にも受診している。往診や歯科医の訪問診療もある。他科受診は、家族の協力に対応し、適切な医療が受けられるよう支援している。受診結果はその都度、家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関から看護師の訪問があり、入居者の状態全般において相談している。ノートを活用し全員が周知できるようにし、緊急時やその他確認したい時には、その都度連絡し相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には必要な情報を提供して、医療機関とも連絡を密にとり早期の退院や本人の混乱をなるべく少なくするように努めている。家族とも連絡を密にとり、職員も出来るだけ御見舞等に訪問している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家族との話し合いのもと入居時に確認している。その時々々の状態に応じて、ご家族と主治医を交えて再度意志確認を行っている。	重度化や終末期に向けた方針は、入居時に本人・家族に説明して了解を得ている。状況の変化により主治医を交えて、家族に事業所でできる最大限の支援を早期に説明し、家族の意見・意向を確認しながら支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署に依頼し救命救急の研修やホーム内勉強会を実施している。急変時のマニュアルを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防立会いの下、地域の方の協力を得ながら、昼夜を想定した避難訓練を定期的に行っている。災害(台風・土砂災害等)の対応も行政からの情報提供や自主避難訓練を行っている。</p>	<p>避難訓練は、消防署立ち合いのもと、昼・夜想定で年2回、地域の協力を得ながら実施している。土砂災害・台風・地震災害等の自主訓練も行っている。避難場所や経路の確認・緊急連絡網を作成している。災害時の米・缶づめ・水・カップラーメン・レトルト食品などを備蓄している。児童福祉施設との連携もできている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>排泄介助の声掛けは、声の大きさや難聴の方には、文字を表す等の工夫をする。PWトイレを居室に置く場合は、布等でカバーし、見た目の配慮を行う。居室に入室する際は、ノック、声かけを実施する。</p>	<p>マニュアルを基に、ミーティングや勉強会を行って、入居者の人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。トイレ誘導時の羞恥心への配慮や難聴の利用者への声かけの工夫・ポータブルトイレは布でカバー・入室時のノックにも気を付けている。自己決定しやすい言葉かけを行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>希望を尋ねる際は、自分で選択できるように声かけの工夫を行い、自己決定できるようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日常生活において、可能な限り無理強いしないで、一人ひとりのペースに合わせた支援を心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に美容院にホームに来て頂いている。行事等時は、化粧などして楽しんで頂いている。衣類は本人と一緒に選び、必要に応じて声かけ支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を取り入れた献立を立て、職員と入居者が同じメニューを同じテーブルで、言葉を交わしながら食事をしている。嚥下が困難な方には、食事形態の工夫をする。	入居時に、食物の嗜好を本人や家族に聞いて把握している。旬の食材を使用して、誕生会には本人の希望する献立を取り入れ、花見・敬老会・正月と変化のある献立に喜ばれている。ミキサー食・きざみ食・とろみ食等、食事形態にも気配りしている。利用者と共に、梅干し・干し柿を作り楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分摂取量を記録し好みの飲み物(ジュース・コーヒー等)を提供することで不足を防止する。一日の食事量を記録して、一人一人にあった食事形態に配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア時の見守り、一部介助等、入居者の状態に合わせたケアを行っている。入れ歯は、夜間、洗浄し清潔を保っている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンや時間帯での誘導、声かけを行っている。日中はオムツ等を外したりして工夫している。失敗に対しては自尊心や羞恥心を考慮してさりげなく支援している。	排泄チェック表を個人で色分けして作成し、声かけ誘導している。トイレでの排泄を支援して、日中はオムツは使用していない。さりげない対応で羞恥心や自尊心を傷つけないようにしている。入居後に布パンツに改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表をつけて把握している。予防のために乳製品や繊維質の食材がとれる献立の工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが、拒否等がある場合には、その都度変更している。季節によって時間を変更したり、表情・体調を確認してからの誘導を行っている。	入浴は午前中で、週3回を目安に本人の意志にそった入浴支援をしている。季節によって時間を変更する時もある。羞恥心や恐怖心等に配慮している。入浴を拒む利用者には、時間をずらしたり、介助者を変えたりして対応している。柚子湯や菖蒲湯を使用して、楽しむこともある。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床まではTVを見たり、本を読んだりしてくつろいで頂く。気持ちよく眠れるように、下肢upや体位交換など個々に応じた支援をしている。。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の整理、仕分けを行ったり、処方の変更があった場合は申し送り時に全職員が把握できるように努めている。服薬担当を定め、誤薬防止のために、声だし与薬を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>野菜作り、裁縫など生活歴を活かして役割や外出の支援や移動パンを利用し、生きがいのある生活が送れるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>散歩、ドライブ等出来るだけ入居者の要望に応じている。(ショッピング、お墓参り、自宅訪問等は家族の参加協力を頂いている)</p>	<p>日頃は緑の多い周辺を散歩して四季折々の花を楽しみ、季節の変化を肌で感じている。職員や家族と買い物に行くこともある。日曜日にはドライブで公園や海・花見に行ったり、戸外の空気に触れている。買い物や自宅訪問・墓参りには家族の協力を得ている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物を出かけた際に、本人に買いたい物を選んで頂き、精算して頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方の家族等にお祝時に電話や手紙を書いて関係の継続に努めている。本人の要望時はその都度対応する。贈り物が届いた時には連絡をして会話していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が自分の力で過ごせるように必要な場所には手摺等を取り付けている。壁画も入居者と職員が一緒になって季節の飾り付けや手工芸に取り組んでいる。	共用空間は天井が高く光も柔らかかで、明るく開放感がある。温度・湿度の空調管理が行き届いている。台所は対面式で調理の匂いや音は生活感を思わせる。畳の部屋もある。壁には入居者と共に作成した、十五夜の飾りつけや手作りのわら草履がかけられ懐かしい。ソファで好きなテレビを鑑賞し、くつろげるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間がTVを見たり、談話を楽しんだり、読書をしたりし思い思いに、くつろぐ場所になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、ご家族に入居時に、使い慣れた品物を出来るだけ持ってきて頂けるように声かけを行っている。入居後も必要に応じてお願いしている。（テーブル・仏壇等）	居室はベッド・テーブル・エアコンが設置してあり、家から持ち込まれたテレビ・家族写真・自作の作品・位牌などがある。転倒や滑落防止の配慮もあり、居心地よく暮らせるような配慮がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活経路は整理整頓して、要所に手すりを設置し、自立と安全面に配慮し、環境整備に努めている。 トイレ・居室はわかりやすく工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない